よろこび

日蓮宗 顕聖会
本 山 妙顕寺
長者山 本要寺

『よろこび』三十七

貫首 齊藤 日軌

霊魂は実在する

近頃、葬儀、法要、先祖の供養を簡易に済ましてしまうことが多くなりがちです。何宗か分からないお坊さんに戒名をつけてもらったり葬式もしないで火葬にしたりすることがあります。私の寺でもあったのですが百歳になるおばあちゃんが亡くなったのですが、霊魂なんか無いだろうと、お金を惜しみ葬儀をしないで家族のお別れ会のみで済まし、おばあちゃんを火葬しました。火葬されたおばあちゃんは喪主の娘さんの夢枕に毎晩苦しそうな顔で立つので、娘は毎晩一睡もできません。「お寺さん申し訳のないことをしてしまいました。なんとかしてください」涙ながらに訴えます。私は「きちんとお戒名を付け、日蓮宗の正式のお葬儀をしましょう」と申し上げ、親戚一同集めて厳かに葬儀をし、引導をお渡ししたところ、その夜からおばあさんは、現れなくなりました。自分たち生きているものが幸せになりたければ、あの世のご先祖さんたちにご供養し、成仏していただくことが大切です。仏様になった御先祖様こそ、私たちを守ってくださいます。霊魂は実在します。霊を大切にしましょう。良い戒名を頂き、きちんと葬儀をしょう。

みおしえ

「心なお、けがれを去らず
ただ袈裟衣（きいろき）をまとわんとすされど、心とともわず
業（わざ）、真理（まこと）にそわずば
袈裟（きいろき）を身にまとわんに
彼はげにそのあたえあらず」（法句経九友松圓諦訳）

これは、お釈迦さんが弟子達に説いた言葉です。お坊さんは仏弟子のしるしとしてまといます。ほかの職業では制服ですかね。制服はその人の職業役割を顕します。

私たちは、おのおの職業において、制服だけでなく、中身、心を整え真理に照らして職業を遂行せねばなりません。

警察官は、法律に従ってまじめに仕事をする。政治家は万民に公平に対する。官僚は特定の人のため忖度してはいけない。

電車やバスの運転手は、飲酒をして勤務してはいけない。

心の言葉

南無妙法蓮華経と唱え心
を整え職業にふさわしい人
になろう